

北陸土木コンクリート製品技術協会との意見交換会を実施

北陸地方整備局は、令和7年10月23日(木) 新潟市内において、(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会と、土木用コンクリート二次製品の活用や今後の取り組みについて意見交換会を実施しました。

【議題】①～④：協会側からの議題、⑤⑥：整備局側からの議題

- ①社会資本の整備・維持管理・更新に必要な事業費の確保について
- ②製品出荷時期の重複回避に資する対応・対策について
- ③令和6年能登半島地震及び大雨被害の対応について
- ④低炭素型コンクリート試行工事などの脱炭素社会に向けた取り組みについて
- ⑤3Dプリンターの導入について
- ⑥大型プレキャストボックスの供給について

【北陸地方整備局からの情報提供】

- I 令和7年度の予算と主要事業
- II 北陸けんせつミライ2026
- III 能登半島地震・奥能登豪雨復旧事業
- IV 低炭素型コンクリート



(写真)意見交換の様子

【主な意見交換の内容】①～④：協会側からの意見、⑤⑥：整備局側からの意見

- ①建設産業の主要資材であるコンクリート製品は、地域での安定供給が不可欠。安定した事業量の確保をお願いしたい。
⇒ 必要な予算確保に努めたい。
- ②製品出荷は第3、4四半期に集中。担い手不足等で短期間での製造・出荷は厳しい。平準化に向けた検討をお願いしたい。
⇒ 更なる工夫や平準化に向けて努めたい。
- ③能登地域へコンクリート製品を円滑に納めるため、納入時期等について「能登半島地震・奥能登豪雨災害復旧工事情報連絡会議」等からの情報提供をお願いしたい。
⇒ 有効な情報が得られる状況となったら情報提供に努めたい。
- ④低炭素コンクリート試行工事の取り組みについて、今後の計画や運用のスケジュール等についてお聞きしたい。
⇒ 混和材調達等での課題がある。引き続き、試行工事の運用について検討していきたい。
- ⑤3Dプリンターの今後の動向に注視している。協会や会員企業における導入に向けた考え等があれば伺いたい。
⇒ 既に導入済や検討中の企業はある。ヒヤリング結果からは、導入に向けて課題等の意見も聞かれる。
- ⑥地域によって大型プレキャストボックスの納入に時間を要する等の意見がある。供給体制での課題等があれば伺いたい。
⇒ 特殊仕様を除いては2～3ヶ月で納入。機械式継手による接合の統一仕様については現在検討している。